

みちこだより

2002年7月 No. 9
日本共産党笠岡市議団発行
〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12
Tel63-6001 Fax62-5753
自宅住所〒714-0051笠岡市生江浜965 Tel&Fax66-1738 携帯090-2862-4775

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)

笠岡市議会議員
ひのつ倫子



有事法案、教育基本法改正に 反対の立場で6月議会でも質問

国会で、有事法案、戦争国家法案が審議されるのと並行して、教育基本法の改正が論議されています。教育基本法には、他に例の少ない前文が書かれています。その中に、日本国憲法の理想の実現は、根本において、教育の力に待つべきものであると明記されています。憲法改正、第9条ないがしろの動きは、教育基本法の改正の動きと連動するものです。私は、教え子を再び戦場に送るなを肝に銘じ、教育基本法改正、反対の立場を明確にし、3つの質問をおこないました。

要介護認定(1-5)を 税の障害者控除の対象に

私たちは長寿社会に生きています。そのこと自体はとて素晴らしいことですが、高齢者の介護が大きな社会問題になっています。この問題を、高齢者の社会環境整備、高齢者保護などの改善で、解決を図ることが緊急に求められています。

ところが、現実に介護に携わっているご家庭の方の苦勞、大変なものです。せめて要介護認定を受けた方を障害を持った方と同等の税の控除対象として、認定してもらえないかという願い、笠岡市で実現させてはどうかと質問いたしました。

市長は、介護度4以上を特別障害者控除の対象とするが、介護度1から3は、固定した障害でない、また介護度は変動しやすい、税金のことは国で決めてほしい等の理由で、認められないと答弁しました。

私は新潟県長岡市、上越市、愛知県犬山市、高知県高知市等多くの市町村で認めている要介護1から3についても、税の控除対象とし

て認められるよう、市民の皆さんと共に頑張っていきたいと思えます。「お年よりの人権を保障する」「市民の目線に立った行政」をうたっている市長が、実施の気持ちになれば実現は可能です。

同和施策の 具体化について

同和对策特別措置法が平成14年3月末終了したことに伴い、3月議会で私は同和減税などの段階的解消を図るべきと質問しました。「2-3年をメドに、関係団体と話し合いをすすめていく。」という答弁でした。そしてこれまで5割減税であったものを、今年度から、4、4、3、2割減税とし4年間で解消すると報告されました。

そこで市長に、3月議会の2、3年をメドにという答弁を踏まえ、常識的には3、2、1割減など3年間の解消が筋ではないかと質問しました。またその財源で、お年より、

リストラ、倒産等で生活に困っている方々に減税が可能になると質問しました。又3月14日付の朝日新聞には、前年度同和関係予算に対し、全国的に7割削減と報じられています。継続事業の関係で、3割は残すと言われています。その中に同和地区生徒の奨学金などが、含まれています。岡山県は、奨学金制度を一般施策に移行させて、新たな奨学金制度を設けました。笠岡市でも、新たな奨学金制度などを設ける絶好の機会だと思います。実現してはと市長にたずねました。

さらに、市PTA連合会への補助金22、5万円に対して180倍の4000万円にもなる同和関係3団体への補助金についても、段階的解消をすべきと質問しました。岡山県

真の教育目的を視点に

教育の目的は、教育基本法にもうたわれているように、人格の完成です。市長がこれまで度々答弁されている人材の育成とは、教育の中に、競争原理、効率化を貫き、不登校や学級崩壊などの教育困難を作り出している現在の教育そのものと言えます。まさしく教育基本法の目的から逸脱したものと云わざるを得ません。

そこで市長に、教育の本来的目的をどのように考えているのか、また教育基本法に述べられている教育の目的、人格の完成と、人材の育成のために中学校統廃合は避けることが出来ないとのこれまでの市長答弁との矛盾をたずねました。

また、中学校統廃合問題でそのままになっている真鍋島の小学校の立て替えを、先行させてはどうかとも質問致しました。

市長は教育の目的については、「生徒が発

達解放運動連合会は、14年度団体補助金を辞退、同笠岡市協議会は平成10年度以来、補助金の一部返納をしていることも明らかにしてたずねました。

市長の答弁は、3月議会で2-3年をメドにと答弁したが、相手があることなので、理解してもらえなかった。奨学金については、笠岡には坂本音一奨学金制度や藤井育英会などがあるので、新たに設けるつもりはない。補助金については、段階的に解消すべく減額に向けて、話し合いをしているところだ。というものでした。

私は同和関係予算、同和地区住民を含めて等しく市民の為に税が使われるよう働きかけていこうと思えます。



(5/4, 5/6, 島にお伺いし、声を聞かせていただきました。)

達段階に応じて多様な考え方に接したりいろんな人間性に触れる機会を作り、切磋琢磨していくなど、より良い教育条件を整えていくことが大切」と答え、また中学校統廃合問題では、「学区審議会の答申は尊重したい。統廃合賛成反対の立場をとらず、島の人達の意見を尊重したい。真鍋島の小学校に関しては、小学校、中学校を建設すると約束したが、その後の情勢の変化で、約束を守ることがすべてとは考えられない。」との答弁でした。

私は市長が教育基本法の教育目的を正しく認識され、島の中学校統廃合問題に生かされることを強く願って、今後とも島の人達と共に中学校統廃合反対で頑張りたいと思えます。

あしあと

4/12 国民に1兆5千億円もの負担増を押し付け、国の責任放棄の医療制度改悪法案、有事法制に反対し、「医療暮らし、命を守る4.12国民総行動」に参加し、市民の皆さんに訴えました。



5/29 島の大運動会 雨が心配された朝、島の運動会、今年は飛島で開かれました。島の人達の手作りの運動会、島の振興を願う気持ちが伝わる熱気あふれるものでした。私も競技を楽しみ、多くの卒業生、知人にも会うことができ、楽しい1日を過ごしました。そして島の振興と島の教育を守るため、決意をあらたにしたところです。



(心むしつに、とべ!大なわとび)

ちょっと心残り
勤務していた山陽高校の在校生の試合、応援に行くのが楽しみの一つです。この間時間がとれず、一度も行くことができず残念でした。



5/1 ミーデーに参加 働く人達の権利、国民生活を守る為に共に頑張ることをお誓いし、デモに参加しました。集会でのご挨拶では、すべての人権を奪う、有事法制反対を強く訴えました。

5/4・6 白石島、真鍋島、北来島、飛島に伺いました。

5/28 金浦小学校の運動会に出席 子供たちの力いっぱい演技に拍手を送りました。

6/16・17 ひったか、おしくらんど 地元の伝統行事として守られ、受け継がれてきたひったか、おしくらんどに参加。実行委員会や保存会の皆さんを激励し、警備の皆さんの労をねぎらいました。そして家族で楽しみました。



有り難うございました
☆ 金浦の小路 あるいは道路面に簡素な排水弁のフタ、自転車の輪をとられ、転倒した近所の方も困っておられました。コンクリートで整地、フタを設置して戴きました。
☆ 金浦宮ノ前 排水溝ふたのおさまりを、良くしてもらいました。

☆ 相生の道 水道を引いたあとの道、自転車に衝撃を与えるような溝となって困っていました。路面が平らになるよう仕上げをしていただきました。



☆ 中央公民館前の車椅子用スロープ、誰の目にも分かるよう障害となっていた植木、古くなった標識を撤去してもらいました。
☆ 教育、医療、道路整備(美観)の相談を受け、関係の方々に暖かい対応をしていただきました。

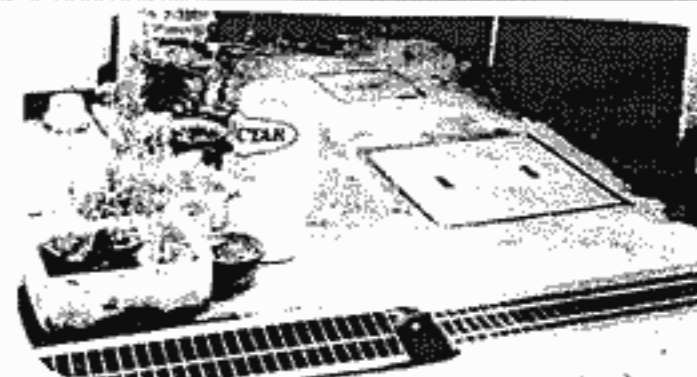


トピックス

わが家の犬が6匹の子犬を出産しました。とてもかわいいです。

(ほほおや・サクラ)

3年目のご挨拶に
おじゃま致します
議会に送っていただいて、2年の節目が過ぎました。3年目を迎えたご挨拶にお伺いしております。突然お邪魔しますが、どうぞよろしく申し上げます。



☆ 生江浜交差点 安全性確保のために、信号機の新たな設置を11月までにしていただけになりました。

☆ 吉浜の水門 水漏れのあった2枚目の板、廻りのゴムを応急処置していましたが、新しい板と取り替えていただきました。

☆ 金崎大橋 国道から干拓への橋の入り口雨でたまった大きな水たまりを車がはね、歩道を通る人が困っていました。歩道横の排水溝が埋められ排水穴が詰まっていたことが原因。水はけを良くしてもらいました。



夫からの一言

妻が2年前に山陽高校を退職し、皆さんのお力で笠岡市議会に送っていただきました。その後妻と共に、毎週月曜から金曜まで朝5カ所、夕5カ所、日曜4カ所ご挨拶を兼ねて、街頭より政策のお訴えに伺っております。お騒がせしますが、よろしくお願い致します。今後ともご指導のほど合わせてお願い致します。

山陽高校教諭 極之津 周明(旧姓 林)